

平成30年度 前期教職員評価

重点努力事項		評価の観点	前期評価
豊かな心の育成	○心に響く道徳の授業の充実	・実態や「特別の教科 道徳」の年間指導計画に沿って、多様な指導法を取り入れ子どもの心に響く授業ができたか。	3.00
		・「熊本の心」等の資料の効果的活用や管理職とのTT授業、家庭や地域社会との連携を図ることができたか。	2.25
	○日常指導の充実	・「玉名学・礼節」を充実させ、気持ちのよいあいさつや正しい言葉遣い、花の世話、無音掃除の指導ができたか。	2.73
	○自己肯定感の育成	・子どもを認め、褒め、励まし、どの子も輝き心のつながる学級集団づくりと一人一人の居場所づくりができたか。	3.00
	○児童理解と教育相談の充実	・「豊水小よい子のくらし」を守るための具体的指導ができたか。	2.90
確かな学力の育成		・教育相談や家庭訪問を積極的に行い、児童や保護者の話をしっかり聞いて対応することができたか。	3.13
		・毎月の「タマにゃんチェック」の結果を受け止め、いじめの早期発見・解決に努めてきたか。	3.38
	○わかる・できる喜びを味わうための手だての工夫	・年間指導計画に沿った週学習計画を立案し、毎時の目標と評価の一体化をふまえた授業をすることができたか。	3.00
		・学習規律の定着のための指導を徹底できたか。(姿勢・返事・鉛筆の持ち方・学習用具の準備など)	2.80
		・毎時の展開に徹底指導と能動型学習の場面を明確に位置づけ、目標達成に向け、対話を重視した授業ができたか。	2.89
		・グローバル人材の育成に向けて、児童とともに活動し楽しくエンジョイ・イングリッシュの推進ができたか。	3.13
		・授業の工夫・改善や県学力調査等の問題を活用して、思考力・判断力・表現力を培う指導が実践できたか。	2.78
		・家庭と連携し、家庭学習の時間[学年数×10+10分]を徹底し、家庭学習の質の向上を図ることができたか。	2.75
		・学力充実タイムを計画的に活用し、個に応じた指導を充実させ学力の向上に役立てることができたか。	3.33
	○主体的な調べ学習や読書活動の充実	・調べ学習に図書室を活用し、主体的な学習が推進できたか。	2.91
		・全校児童年間100冊以上を目標に読書量を増やし、必読書を提示し、読書の質の向上を図ることができたか。	2.89
	○特別支援教育の充実	・一人一人の教育的ニーズや困り感を把握し、保護者及び専門機関と連携を図り具体的な支援を行うことができたか。	3.00
		・ユニバーサルデザインの視点に基づいた授業ができたか。	2.89
たくましい心身の育成	○保健指導の充実と健康診断の事後指導の徹底	・健康観察と語りかけにより児童の心身の健康状態をとらえ適切に対処することができたか。	3.20
		・健康診断の事後指導により、治療の完了ができたか。	2.88
		・う歯予防のためフッ化物洗口を計画的に実施してきたか。	3.63
	○体育授業の充実と体力の向上	・めあて学習を通じて、運動の特性にふれる楽しさを味わえる体育授業を展開することができたか。	3.13
		・外遊びの奨励や体育等の充実により、体力の向上を図ることができたか。	2.71
		・部活動や社会体育への参加を推奨し、運動へ親しませることができたか。	2.89
	○望ましい食育の推進	・給食指導を徹底し、衛生チェック、正しい食事のマナー指導や偏食の改善指導を行うことができたか。	3.00
		・給食指導・マイ弁当・給食週間等の取組を通して、食事を作ってください方への感謝の気持ちを育てることができたか。	3.00
	○安全に行動する習慣や態度の育成	・危険箇所等を知り、登下校のきまりを守って、安全に登下校するための指導を行うことができたか。	3.30
		・「自転車安全利用5則」を徹底させるとともに、危機回避能力の実践的な態度が育つための指導はできたか。	2.78
教育環境の充実		・地域の危険箇所マップを意識させ、日常生活において、安全に生活できる態度を育成できたか。	3.00
	○学校版環境ISOの推進	・学年に応じた課題への取り組みを通して、環境にやさしい心を育てるための指導はできたか。	3.00
		・環境を大切にするために、草取りやチリ拾い、スリッパ並べなど、主体的に行動できる実践的な態度を育てる指導はできたか。	2.73
	○地域とともに花いっぱい学校づくり	・水かけ、花殻摘み、草取りなど、毎日の花の世話を習慣化し、花づくりに主体的に関わるための指導はできたか。	2.64
		・地域の方とともに作る野菜の栽培や花づくりを通して生命の大切さを教え、自他へやさしく接する指導はできたか。	2.91
地域とともにある学校づくり	○言語環境の整備	・言葉に対する理解や感性を深め、温かい言葉かけや校内掲示等の言語環境の整備に努めることができたか。	3.00
	○小中一貫教育の推進	・有明中校区の共通実践事項を確実に推進し、幼・保等、小、中連携カリキュラムに沿った指導を行ったか。	2.82
		・活動毎の評価や前・後期の評価を、次の活動や他の活動の改善に適切に生かすことができたか。	2.80
		・保護者、学校関係者評価委員会等の学校評価の結果をもとに、学校や学級改善に生かすことができたか。	2.80
	○学校評価の充実と結果の活用	・保護者、地域への情報発信(HP)、学校に対する要望等の収集を積極的に行い、適切に対応することができたか。	2.40
		・必要に応じて、学校外の関係機関との連絡・協議等を適切に行い、校内での共通理解を図ることができたか。	3.11
		・お世話になった方々への感謝の気持ちを伝えるためのあいさつや礼状等の指導はできたか。	3.00
	○関係機関や保護者・地域との連携強化	・日々の学習指導・教材研究・研究授業等に積極的に取り組み、実践的指導力の向上に努めたか。	3.11
		・報告、連絡、相談を十分行い、協力し合って組織的に課題に対応することができたか。	3.27
教職員の資質向上	○くまもとの教職員像の自覚	・全体の奉仕者としての使命感と情熱をもち、課題に立ち向かうことができたか。	3.00
		・不祥事防止のための意識を高め、ボトムアップ研修やミニ講話等具体的な取組をすることができたか。	3.10
	○教育者としての使命感和不祥事の根絶	・人権意識を高め児童の人権に配慮した言動ができたか。	3.09
		・人権が尊重される学級環境づくりに努め、年間指導計画に沿った人権学習の授業ができたか。	3.13
	○人権意識や人権感覚	・事務の効率化を図ることができたか。	2.82
働き方・校務改革		・勤務時間縮減に向け、組織で対応し、校務の効率化を図ることができたか。	2.60